

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2012年7・8月号

発行編集人

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第536号

「ガリラヤの風かおる丘でひとびとに話された 恵みのみことばを わたしにも聞かせてください。」教会でよく歌われる讃美歌です。メロディも歌詞も親しみやすいものです。この讃美歌の第2節に、「嵐の日 波たける湖(うみ)で 弟子たちを諭された」と歌われます。湖とはガリラヤ湖のことです。

ガリラヤ湖は、死海から百数十キロ北方にあります。福音書には、旧約聖書の言葉の引用であります。「異邦人のガリラヤ」と記されています。「異邦人」という言葉からも、この地域が自分たちの信仰と相容れぬという排除を感じ取ることが出来ます。ガリラヤはその昔、アッシリア等の支配を受け、宗教や文化の混合状態となり、蔑視の対象となりました。

イエスの時代もまた、ガリラヤはエルサレムを中心とするユダヤ教の主流からは抑圧された地域でした。イエスの弟子であるペトロが、「お前もあの連中の仲間だ。言葉遣いでそれが分かる」と言われていることは、イエスの弟子に対してだけではなく、ガリ

ヤの人々全体に対する差別意識がうかがえます。イエスが活動したのは、まさにそのような場でした。「ガリラヤの風かおる丘」というと、いかにも平和でのどかな印象を受けますが、実際には厳しい社会環境におかれていたと思われれます。そしてまた、イエスが活動した場所は、町や

きょうかい



日本クリスチャンアカデミー

常任理事 横野 朝彦

す。なぜなら、この湖は、ガリラヤ地方にある湖というだけでなく、いわば外界への接点でした。

村とともに、湖が重要な位置を占めています。「嵐の日 波たける湖で。」イエスは湖畔において語り、また沖へ漕ぎ出し、向こう岸へ渡り、とくに湖上で嵐に遭う体験をしています。

福音書に次のような記載があります。「イエスは弟子たちと共に湖の方へ立ち去られ

た。ガリラヤから来たおびただしい群衆が従った。」このあとさらにいくつもの地名が書かれ、多くの地域から人々が集まったと記されています。

ものが接しあう、境界線上当ったのです。イエスが、舟を沖に出して向こう岸へ渡ったという記事は、全部がそうではないとしても、宗教の異なる地域への移動と考えることが出来ます。そうであるならば、湖上の嵐は、異文化が接することによって起こった弟子たちとの間の動揺と考えることも可能でしょう。

「異邦人のガリラヤ」と蔑視された人たちが、真正正銘の異邦の土地へ舟で漕ぎだし、恐れをいだきました。そのような彼らにイエスは言います。「恐れるな、信仰の薄い者たちよ。」ここでイエスは、「神と人に対する信頼を持って」と、弟子たちを諭したのです。

異なる宗教や文化がぶつかりあう境界において、イエスはその活動をおこないました。クリスチャンアカデミーの働きとその場は、教会に基盤をおいていますが、そこにとどまるのではなく、きょうかい(境界)という場と状況を大切に、沖へ漕ぎ出していきたく願っています。

(番町教会牧師)

関西セミナーハウス活動センター

●認知症に関するプログラム

「認知症って何だろう—あなたも私も

無縁ではないこの病気のこと—」

2012年1月28日(土) 日本基督教団世光教会
京都府立医科大学名誉教授 京都保健衛生専門学校校長 中島 健二さん



プログラムのねらいは、「高齢者社会で避けて通ることのできない認知症について、その当人や家族などが孤立しないために、どのような対応が求められているか、見えないところに隠されがちな課題を共有し合い、新しい出会いを求めよう」というものでした。

中島先生の講演は、「認知症って何だろう」ということから始まり、病気がことが分かりやすく説明されました。認知症とは脳の病気。年をとるほど認知症は増え、90歳以上では45%。我が国の人口構成の将来予測は、40年後には65歳以上の高齢者は40%以上になる。だれもがこの病気にかかるとは可能性がある。

その治療に薬物療法と非薬物療法があるが、どう対処すべきなのか。無くなった細胞は生き返ることはないが、残されている細胞を生かすことが大きな可能性を秘めている。そのためには家族やコミュニティの役割が大きい、などが話されました。

中休みに即席のロールプレイをして雰囲気や和みまし

た。参加者の話し合いで多くの共感が得られたと思います。全員の参加度は高かったと思います。地域の人たち、病院関係者など広い範囲の参加者がありました。いつものセミナーハウスを離れて、出前講座と言うことで、会場を世光教会にしていたいただいたこと、参加費を五〇〇円に下げたことなどが参加しやすかったようです。今後へ継続を希望する声も多く出され、また何回か計画したいと思えます。参加者59名。

●2011年度修学院フォーラム「福祉とこころ」第2回
「聖書に尋ねる福祉の思想」

京都基督教福祉会理事長 日本キリスト教社会福祉学会前副会長 岡山孝太郎さん

2012年2月18日(土)



岡山孝太郎氏を講師とするフォーラムはおよそ一年ぶり

の開催であったが、今回もまたこれまでと同様、同氏による聖書講義によって人生の意味を探求しようとする人びとの集いとなった。

講演では、まず、死を宿命づけられた人間にとって、どのようにして「喜びの祝宴」が可能になるのかが問われ、それが福祉の課題であると定義された。とくにマルコ福音



書に描かれた人間群像とイエスのかわりが詳しく読み解かれ、福祉は、破壊された人間の回復をめざす営みであることが強調された。

つづいて岡山氏は、聖書のなかに人間の原的イメージを求めるならば、人間の真相は「弱さ」にあると指摘された。そして、その「弱さ」にこそ、聖なる神の姿が示されているのであり、そこに宿る秘儀性のゆえに、そこは福祉と信仰をつなぎ留める場所であると述べられた。岡山氏は、この視点から福祉について再考するようにと促し、福祉こそ、われわれが献げるべき礼拝そのものであって欲しいとする祈りをもって結論とされた。参加は一五名であった。





●2011年度「お茶のこころと宗教のこころ」第3回
「大友宗麟の生涯と大徳寺瑞峯院」
 臨濟宗大徳寺瑞峯院住職 前田 昌道さん
 2012年2月13日(月) 大徳寺瑞峯院

千利休の弟子でありキリシタン大名であった大友宗麟の菩提寺として紹介されていて、茶道の世界でも有名な大徳寺瑞峯院を会場にして、住職の前田昌道師から大友宗麟の生涯について、特にキリスト教徒であった大友宗麟がなぜお寺に祭られているのか伺いたくてこの会を企画した。

当日はあいにくの雨で、足元の悪い中40名を超える参加者が集まり、盛会に開催することができた。広間でお茶をいただいた後、本堂に移ってお話を伺った。

瑞峯院で大友宗麟を祭っているのは、宗麟が若い時に仏

教の信仰を持って福岡で得度した時に帰依した徹岫宗九禪師を瑞峯院の開祖とし、その弟子怡雲宗悦を大分に招いて、キリシタンになるまで師事したことから、後に宗悦が瑞峯院住職になった際、宗麟を縁ある人として位牌を作ったという経緯であった。庭のキリシタン灯籠は宗麟が置いたものではなく、近年に庭を改築し十字架の石組みの庭を作庭した時に庭師がいずれからか移築したものであるとの



ことであった。前田師は宗麟はキリシタンになってからは、宗麟の方針に反抗した三つのお寺をつぶしたということもあり、宗麟に対して評価できない思いをお持ちの様子で、各々の宗教が各々の高みを目指す中で、互いの信仰を

第1部の「聖書の黙想会」では、エレミヤ書51・6、10とルカ23・44、49を黙想した。両方に共通しているのは、世俗の軍勢力や人間の欲望が現実を動かす全てではなく、さらに大きな偉大なお方の力が働くことを信じているエレミヤとイエスの姿である。イエスの最後の言葉と利休の辞世の句の最後の言葉が同じであるのは、利休が影響を受けたからではないかと思われるが、なげうって任せるお方があって茶道や信仰が成立すると黙想会を担当した春名はまとめた。

●2012年度「お茶のこころと宗教のこころ」第1回
「関西セミナーハウスの茶室 清心庵」
 裏千家正教授 紫苑国際文化院院長 市川 克彦さん
 2012年4月9日(月)



第3部の市川克彦氏の講演は、自分史から話を起こされ、「茶道は茶事である」との確信を持たれて、3000回茶事を目指して来られたが、その過程で、移築を任された者としてセミナーハウスの清心庵は、料理を座つてしなければならぬこと、お手洗いが

否定するのではなく、引き入れていくのが本来の姿ではないかと話された。

今回はプログラムを外の会場を借りて企画することの難しさも感じ、今後の課題としていた。

不便なことが反省点として明らかになってきたこと、故竹中正夫前理事長や裏千家大宗匠のお勧めもあって引き受けた清心庵の移築であったが、課題を残したことにあったこと、清心庵にはじり口もなく、四季の景色を楽しむことが造りの個性になっていること、名前の由来は、山上の垂訓の「心の清いものは幸いである。彼らは神を見るであろう」からとつたと理解していること、「茶の中に仏もイエスも共にまします」が今の心境である、と話された。

市川氏は、この度家元に別れを告げて牧師に専念することにされた。世間では、利休が茶道を確立したと評価されているが、利休は茶道を確立することを目的としていたのだろうか、むしろ茶道を通して神との出会いを求めているとすれば、茶道を仕事のようにしてこられた市川氏が茶道から牧会へと昇華されることはたどるべき道のりとも考えられる。

プログラム案内

◆関東活動センター

■日本クリスチャン・アカデミー 聖書講座

「旧約聖書と新約聖書―「聖書」とはなにか」

講師：上村 静さん(東京大学非常勤講師)

日時：2012年6月～12月の土曜日・原則月1回 全5回 14:00～16:00

③9月29日(土)④10月27日(土)

⑤12月1日(土)*①②は終了

会場：日本キリスト教会館6階会議室

参加費：1,200円(賛助会員1,000円/学生500円)

テキスト：『旧約聖書と新約聖書』(2011年刊・新教出版社)

共催：早稲田奉仕団

■保育者のための絵画ワークショップ

講師：金斗鉦さん(画家)

日時：2012年9月6日～10月4日の毎週木曜日 全5回 18:30～20:30

会場：日本キリスト教会館6階会議室

東 西 南 北

石井 秀明

関西セミナーハウス職員、5月31日付で退職しました。長年のお働きに感謝します。

財団本部 http://www.academy-nippon.com
関東活動センター http://www.academy-tokyo.com
関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/
関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
FAX 03-3207-2478
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/

関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
E-mail:info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

参加費：10,000円

参加対象者：幼稚園・保育園等で保育に従事する者

共催：キリスト教保育連盟

◆関西セミナーハウス活動センター

■開発教育セミナー

2012年度第3回「脱原発のための福井スタディツアー」

講師：山崎 隆敏さん(「若狭ネット」福井連絡先・「サヨナラ原発福井ネットワーク」代表)

日時：2012年9月15日(土)11:00～16日(日)17:00(現地集合、現地解散)

参加費：21,000円

■神学生交流会

2012年度第2回「病む人たちとイエス」

講師：榎本 てる子さん(関西学院大学神学部准教授)

日時：2012年10月6日(土) 13:30～17:00

■修学院フォーラム「エネルギーを考える」

「原子力発電の根本的問題と我々の選択」

講師：北澤 宏一さん(独立行政法人科学技術振興機構顧問・前理事長、福島原発事故民間独立調査委員会委員長)

栗林 輝夫さん(関西学院大学法学部教授)

日時：2012年10月7日(日)16:00～8日(月・祝)16:00

参加費：12,500円、学生10,000円(宿泊3食込)

賛助会費・後援会費・寄付金報告

2012年5月1日～2012年5月31日
(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費

木岡 毅 5,000
高德 芳忠 10,000
伊藤 博子 5,000
清水 勝彦 5,000
神谷伊勢男・神谷和枝 10,000
神保 正男 5,000
樁 邦良 5,000
浦和母の会幼稚園 10,000
吉田 豊 5,000
武藤 陽一 5,000
曾 平統 5,000
手島 毅郎 5,000
ランデス・ハル 5,000
小笠原公子 5,000
根津 建 5,000
松本 誠 5,000
萩原 隆司 5,000
斎藤 宏 5,000

第4回神学生交流プログラム

ランデス・ハル 5,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

早川 良彌 5,000
森口 克洋 10,000
手銭 秀夫 5,000
大下 道 5,000
郷原 憲一 5,000
黒田 睦子 3,000
福岡 誠之 5,000
綱島 郁子 3,000
真鍋 裕子 5,000

小島 規似郎 5,000
田辺 信子 5,000
新宗連大阪事務所 生田茂夫 10,000
林 律 10,000
西川 治郎 3,000
公益財団法人京都YMCA 10,000
北風 照子 5,000
根岸 宏邦 5,000
藤井 伸枝 5,000
植村 敏子 5,000
古賀 暢子 5,000
米田 貞一郎 5,000
喜多村やよい 5,000
中山 晴美 5,000
久保田 暁一 5,000
北野 宗香 5,000
平野 正 10,000
立石 昭三 5,000
鳥居 興彦 3,000
梅山 猛 10,000
木下 寿子 5,000

寄付金

保田 茂 3,000
田野 直美 1,000
大下 道 5,000
山本 公平 10,000
木原 諄二 5,000
北野 宗香 5,000
鳥居 興彦 2,000

◆関西セミナーハウス

2012年4月1日～2012年5月31日

寄付金

武藤 高司 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。